

## 平成28年度議会報告会での意見・要望及びその回答（H28.10/20開催）

### ◎当局に対するもの

	質疑, 意見や要望等	担当部	当局回答
	<b>【名瀬会場】</b>		
1	新庁舎は, 震度7に耐え得るのか。	総務部	震度7は最大震度であり無限大のゆれまで含まれることから, 耐え得るかの判断はできないものの, 国の基準による震度6強の地震に対して, 建物が安全に使用できる設計となっております。(阪神淡路大地震と同程度を想定)
2	新庁舎の模型が展示されたが, 市民への周知徹底が足りないのではないのか。	総務部	市民への周知については, ホームページや広報紙で本庁舎建設に関する内容を掲載するとともに各種会合等で説明しております。また着工前に住民説明会を開催し, 周知を図っているところです。
3	奄美市はなぜ, ふるさと納税への本格的な取り組みが遅れたのか。	総務部	ふるさと納税への取り組みに関しては, これまで, 寄附者の方の奄美に対する思いを尊重し, 感謝の気持ちを市長のお礼状を添えて特産品という形で送付させていただいていたところです。全国的にふるさと納税への関心が高まり, 実績を伸ばしている自治体を参考に, 納税しやすい環境づくり(クレジットカード決済の導入・インターネットによる申込)を順次進めてまいりました。今年度からは市の推進体制を整え, 特産品の種類を増やすなど取り組みを強化してきたところです。
4	市債は, 市民が購入できるのか。できるのなら1口いくらからなのか。	総務部	公募型の市債の発行は, 現在実施していません。

	質疑, 意見や要望等	担当部	当局回答
5	自衛隊配備についての住民説明会が市の中心部で開催されていない。市の独自で再度開催してほしい。	総務部	<p>自衛隊配備についての住民説明会につきましては市民の皆様御存じのとおり、平成28年6月5日に開催しております。</p> <p>開催場所については、駐屯地整備に伴う工事車輛や整備後の自衛隊車両の往来、自衛隊との日常的な交流などを検討した結果、最も影響が大きいと考えられる大熊地区としましたが、新聞などを通して広く市民の皆様へ周知させていただいたところではあります。</p> <p>市議会一般質問答弁においてお答えさせていただいたとおり、市主催による再度の説明会開催につきましては予定しておりませんが、現在、市議会を含めた開催のあり方について検討しているところです。</p>
6	行政が「認知症マーク」を発行して該当する方の衣服に貼ることで交通事故防止など安全を確保できる事業を実施してほしい。また、認知症の方が行方不明の際、各タクシー会社などにも協力を要請しているのか。	保健福祉部	<p>「認知症マーク」については、個人情報や人権尊重の観点からも一律にマーク等の貼付は難しいと思われまます。しかし、高齢者全体を含め事故等の安全面を考慮した取り組みは必要と考えています。また、行方不明者の対応については、認知症の方を介護している家族からの申し出により「はいかいSOSネットワーク」の登録を行い、行方不明になった際は、関係協力機関（バス、タクシー等）との連携を行い情報提供できる体制づくりに努めているところです。また、気になる方については日頃から警察や消防等との情報共有を行い早期対応に努めていますが、一部地域では、今年度に徘徊模擬訓練を実施する予定にしています。</p>
7	名瀬の末広市場・永田橋市場を大島紬の産地直売所にしてほしい。	商工観光部	<p>名瀬地区の商店街では、現在も呉服店等において大島紬が販売されております。「産地直売所」の実現のためには、施設面や採算面を含め様々な条件を整える必要がございます。</p> <p>本市と致しましては、大島紬を身近に感じられる「紬の薫るまちづくり」に向けた諸施策を推進しておりますので、ご提案についても、貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきたいと存じます。</p>

	質疑, 意見や要望等	担当部	当局回答
8	末広商店街をしっかりと再生させてほしい。	商工観光部	商店街の活性化については、本年度中に中心市街地活性化基本計画を策定する予定ですので、計画に基づき活性化に向けた施策を総合的に実施してまいります。
9	人事異動の際、同じ課で同時に各役職者が異動にならないようにしてほしい。	総務部	職員の適正な配置に努めてまいります。
10	子育て支援策に対して、教育委員会と福祉政策課の窓口を一本化してほしい。そうしなければ、認定こども園の創設につながらない。	保健福祉部 教育委員会	子育て支援に関する組織の見直しを検討するなかで対応していきたい。
11	成人式用紬購入助成制度を拡充してほしい。 (還暦・古希のお祝いや同窓会での紬着用の推進のため)	商工観光部	今年度から実施しております紬購入助成制度につきましては、広く市民の皆さまを対象に実施しておりますが、特に成人式用の紬については、地域を挙げて新成人を祝い、島の宝を後世に継承する趣旨から、特に助成率を高く設定しております。ご提案につきましては、現制度の今後の推移や地域の状況、ご意見などを十分踏まえた上で、今後の検討課題とさせていただきたいと存じます。
	<b>【住用会場】</b>		
12	・住用地区は、高齢者が多く支所や診療所へ行くのも個人を頼んで車を出している状況です。住用地区内に巡回バスを出して、加計呂麻バスのように100円バスの利用を望みます。(アンケート調査から)	保健福祉部 商工観光部	バスの件につきましては、住用地域のみではなく、奄美市全体の路線について、来年度基本的な方向性を定めた計画を策定する予定にしております。その中で持続的な公共交通の在り方について検討してまいります。

	質疑, 意見や要望等	担当部	当局回答
13	夕張市とか奄美に類似したところを視察して, 勉強して, 住用, 西仲間の農業振興に反映させてほしい。農業用水事業にもしっかり取り組んでほしい。	農政部	住用地区においても農業農村整備事業等の導入により, 農業を中心として地域の活性化と生産及び農村生活環境の整備を行うために, 地域住民との意見調整や調査・検討を行いながら進めております。農業用水事業においても調査検討を行ってまいりますのでご理解ください。
14	市政だより配布の枚数が, 17世帯しかないのに, 25世帯依頼がくる。行政はチェック, 確認してほしい。	総務部	平成27年3月嘱託員会において, 配布部数の確認を行っております。再度, 調査を実施し集落の必要部数を把握したいと思っております。
15	以前は新しい居住者には区長に届け出があったが, 個人情報保護管理法により, 集落に入ってきてても自己申告をしないのでわからず, しかし, その方の分まで広報を配布している。届け出がなくても名簿にのせる事はできないのか, 考えてほしい。	市民部	新規の町内居住者には, 地域の実情(防災・集落行事への参加)を理解していただいた上で, 身分の不明が無いよう周知したい。
16	集落のマイクが今はなく, 防災無線のマイクが主になっている。取り付け場所を考えてほしい。場所によっては聞こえない。交渉しても聞き入れてくれない。奄美市になって融通がきかない。	総務部	防災行政無線のデジタル化に伴い, 嘱託員の皆様とは, 子局(スピーカー)の適正な場所を立会いの下, 実施しました。その際, 集落放送については, 子局の場所移動に伴い集落保有の機器からのマイク放送はできない旨, 周知しております。
17	福祉協議会からのヒヤリングがあり, 防災レベルの件などであるが, 実効性が乏しい。視察を生かして, それを地域にスピードアップして実行してほしい。ヒヤリングの後, 報告がない。	保健福祉部	地域での見守り活動など, 防災に関連することなども含めて, これまで行ってきた事について再度点検を行い, 実効性のあるものとなるよう住民のみなさんと対話を重ねて行きたいと思っております。今後の高齢化社会を見据え, 行政と住民のみなさんと一緒になって, 安心して暮らせる地域づくりを目指して行きたいと思っております。

	質疑, 意見や要望等	担当部	当局回答
18	瀬戸内町は, 地域おこし協力隊を地域に4名の配置があり, 住民と一緒にいるが, 奄美市の地域おこし協力隊の意義と方向性はどのようなものなのか? できれば, 住用地区に籍をおいて, 地域の人と一緒に取り組んでほしい。地域住民と一体となって活動してほしい	総務部	本市では平成28年度より地域おこし協力隊を2名配置しておりますが, それぞれ奄美大島観光の受入体制強化の活動, 学生等を対象とした人材育成の活動に従事しております。 集落での地域おこし活動に取り組む協力隊については, 本市が現在実施しております「本気で人口を増やしたい集落応援事業」とあわせて, 募集について検討していきたいと考えております。
19	和瀬の砂防ダムについての経過報告が聞きたい。	建設部	平成25年2月に提出された和瀬地区砂防等の要望における, その後の経過でございますが, 平成26年度に県が和瀬砂防施設の老朽化対策事業に向けた調査に入っており, その際に字図混乱箇所が多いことが判明しております。このことから, 砂防堰堤の新設も含め, 現在のところ事業導入が困難な状況であるとのことです。 そのような状況ではありますが, 和瀬地区の安全安心な生活環境づくりのため, 今後も国道側溝拡幅も含め県に対し要望を継続していきたいと考えております。
20	住用地域が世界自然遺産登録に向けて, 山林探索コース造りをしているが, 途中, 碎石処理場の轟音が聞こえてくる。世界自然遺産の壁になるのでは。ぜひ, 採石場の問題を平成30年度までに解決してほしい。	市民部 商工観光部	ご指摘の場所(神屋地区)については, 国立公園の第2種特別地域の予定区域となっております。採石場の件につきましては, 自然公園法及び採石法に基づき, 国及び県において判断されるものと考えております。
	<b>【笠利会場】</b>		
21	観光地に行く街道(国道58号)沿いの「鹿児島ロマン街道」という標示があるが「奄美ロマン街道」とできないか。	商工観光部	かごしまロマン街道については, 鹿児島県の魅力ある観光地整備事業(県観光課, 県100%)にて整備された観光施設に設置されている観光案内板であり, 鹿児島県統一の観光ブランドとして位置付けられています。旅行者が市町村間を移動しても安心して周遊できるよう表示が統一されております。

	質疑，意見や要望等	担当部	当局回答
22	奄美市独自による自衛隊配備に関する説明会を3地区（名瀬・笠利・住用）で開いてほしい。	総務部	<p>自衛隊配備についての住民説明会につきましては市民の皆様御存じのとおり，平成28年6月5日に大熊地区において開催いたしました。</p> <p>市議会一般質問答弁においてお答えさせていただいたとおり，市主催による再度の説明会開催につきましては予定しておりませんが，現在，市議会を含めた開催のあり方について検討しているところです。</p>
23	自衛隊の訓練が行われているが，車両が何台で，何名位の規模か。また，今回の訓練の市民への事前通知はできなかったのか。	総務部	<p>本年度も陸上自衛隊による実動演習「鎮西演習」が九州及び沖縄全域において実施され，本市においても10月10日から10月30日まで，隊員数約1,300名，車輛数約450台の規模で実施されたと伺っております。</p> <p>新聞等を通して市民への事前通知については無かったと認識していますが，今後，防衛省と協議してまいりたいと考えております。</p>
24	3市町村が合併したが，それぞれの3地区に見合った予算配分が必要では。	総務部	<p>予算編成の基本的な考え方については，3地域（名瀬・住用・笠利）の均衡ある発展のため，事業の効果，必要性を吟味し，毎年度作成する実施計画に基づき，中・長期的な計画に沿ったものとなっております。</p>
25	奄美は農業が盛んだと思っているが，もっと付加価値の高い農産物（特産物）が作れないか。	農政部	<p>奄美市としても，農家の所得向上，経営安定化のため付加価値が高い農産物に関しては，関係機関と検討し，推進を図っているところです。現在の取り組みとしましては，「ぽんかん」に替る年内出荷が可能な品種として「津之輝」，大玉系のスモモなど，苗木導入を図り，面積拡大に取り組んでいるところです。今後，付加価値の高い農作物については，観光と連携した作物や奄美に適した作物の導入に向け，試験栽培を含め，関係機関と協議，検討してまいりたいと考えております。</p>

	質疑, 意見や要望等	担当部	当局回答
26	上記の目的を達成するため, 例えば鹿児島大学の農学部の一部をこちらに誘致することはできないか。	農政部	農学部の一部誘致は行っておりませんが, 平成28年度に鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室が設置され, 奄美群島の自然科学等に関する調査研究が実施されています。今後こうした研究機関と連携し, 奄美の産業に生かしてまいりたいと考えています。
27	合併後のアンケートは採っているのか, まだであればぜひアンケートを行ってほしい。	総務部	合併については, 10年を検証し, ホームページで公表しているところです。住民アンケートについては, 地域協議会での意見等も参考にしながら, 引き続き3地域の均衡ある発展を目指した施策に取り組む中で検討してまいりたいと考えております。
28	保育料の問題があがっていますが, 地域格差を十分に考慮して現状のままをお願いしたい。	教育委員会	議会の附帯決議を受け, 6月から公立幼稚園在り方検討委員会を立ち上げ, これまでに7回協議検討を重ねてまいりました。保護者への説明会やアンケート結果をもとに, 現在, 検討を進めているところでございます。まだ, 市当局へ報告する段階には至っていない状況で, もうしばらくお時間をいただきたいと考えますので, 御理解ください。